

# 鹿児島県産および長崎県産ハナバチ類の若干の採集記録

塚田 拓 (鹿児島市吉野町 311-1 : 〒892-0871)  
幾留 秀一 (鹿児島市宇宿 5-7-3 : 〒890-0073)

## はじめに

鹿児島県産ハナバチ類目録に類する文献としては、県本土については幾留(1992, 2013)、また南西諸島については山根ら(1999)などがある。その後は、*Nomada* キマダラハナバチ属、*Coelioxys* トガリハナバチ属、*Sphecodes* ヤドリコハナバチ属および *Lasioglossum* コハナバチ属などに関する日本産種の分類学的再検討の論文中や県内の地域を限定した記録の中などに新たに追加される種が幾らか散見される。

一方、長崎県産については、比較的近年、山元(2017)によって図鑑にも匹敵する詳細な解説付きの大変立派な目録が自費出版されている。

今回ここに記録するハナバチ類は、鹿児島県の主に本土(一部長島を含む)および長崎県本土(松浦市志佐町)において著者のひとり塚田が採集したもので、村尾竜起氏(*Lasioglossum* コハナバチ属)と幾留(それ以外のすべて)が標本の同定を行い、かつ上記文献等をもとに幾留が若干の解説を加えた。

## 採集記録

採集者はすべて塚田拓であるので、以下のリスト中では採集者名を省略する。各種内の採集データは、年間を通して早い月日順に配列している。また、YPTはYellow Pan Trapの略。

### Colletidae ムカシハナバチ科

#### 1. *Colletes (Colletes) collaris* (Dours)

オオムカシハナバチ

1♂1♀ : 南九州市川辺町諸麦, 20 X 2009.

かつて *Colletes perforator* として扱われていた。

#### 2. *Colletes (Colletes) patellatus* Pérez

アシブトムカシハナバチ

1♂1♀ : 鹿児島市小山田町, 19 IX 2002.

1♂ : 曾於市末吉町寺園, 19 IX 2009.

3♂♂ : 曾於市末吉町百入, 19 IX 2009.

9♂♂4♀♀ : 霧島市溝辺町宮原, 28 IX 2009.

1♀ : 霧島市溝辺町栗下, 29 IX 2009.

3♂♂3♀♀ : 霧島市溝辺町下有川, 1 X 2009.

1♂1♀ : 出水郡長島町獅子島, 14 X 2009.

2♂♂ : 出水郡長島町行人岳, 15 X 2009.

5♂♂2♀♀ : 出水郡長島町母良木, 15 X 2009.

1♂1♀ : 出水郡長島町矢堂, 15 X 2009.

3♂♂ : 出水郡長島町蔵之元下, 16 X 2009.

4♂♂ : 出水郡長島町小浜川, 16 X 2009.

1♂3♀♀ : 出水郡長島町重尾, 16 X 2009.

2♂♂7♀♀ : 南九州市川辺町瀬戸山, 19 X 2009.

1♂2♀♀ : 南九州市川辺町宮塘池, 19 X 2009.

1♂ : 南九州市川辺町青木牧場, 20 X 2009.

2♂♂2♀♀ : 南九州市川辺町諸麦, 20 X 2009.

2♂♂1♀ : 長崎県松浦市佐志町, 27 IX 2012.

#### 3. *Hylaeus (Nesoprosopis) transversalis*

Cockerell ニッポンメンハナバチ

1♂ : 長崎県松浦市佐志町, 27 IX 2012.

かつて *Hylaeus nippon* として扱われていた(シノニム)。

### Andrenidae ヒメハナバチ科

#### 1. *Andrena (Chlorandrena) knuthi* Alfken

キバナヒメハナバチ

1♀ : 鹿児島市七ツ島, 19 IV 2005, YPT.

2♀♀ : 鹿児島市西之谷, 19 V 2009.

1♀ : 薩摩川内市藺牟田, 18 IV 2010.

#### 2. *Andrena (Euandrena) hebes* Pérez

ヤヨイヒメハナバチ

1♀ : 薩摩川内市藺牟田, 30 IV 2010.

1♂2♀♀ : 鹿児島市吉野町実方, 26 III 2012, YPT.; 1♀, 6 IV 2012, YPT.; 1♀, 28 IV 2012, YPT.

#### 3. *Andrena (Euandrena) luridiloma* Strand

シロヤヨイヒメハナバチ

1♀：鹿児島市吉野町実方, 17 III 2008.; 1♀, 24 III 2008.

かつて *Andrena stellaria* として扱われていた (シノニム)。

4. *Andrena (Hoplendrena) dentata* Smith

トゲホオヒメハナバチ

1♂1♀：薩摩川内市藺牟田, 18 IV 2010.

1♀：鹿児島市吉野町実方, 6 IV 2012, YPT.

5. *Andrena (Micrandrena) minutula* (Kirby)

マメヒメハナバチ

1♀：薩摩川内市藺牟田, 18 IV 2010.; 1♀, 30 IV 2010.

6. *Andrena (Micrandrena) semirugosa brassicae*

Hirashima アブラナマメヒメハナバチ

1♀：鹿児島市吉野町実方, 28 IV 2012, YPT.

原記載は *Andrena brassicae* という独立種であったが、本種は現在 *Andrena semirugosa* の亜種として扱われている。

7. *Andrena (Plastandrena) japonica* (Smith)

ミツクリフシダカヒメハナバチ

1♀：鹿児島市吉野町実方, 17 III 2008.

5♂♂2♀♀：鹿屋市古江, 25 II 2010.

**Halictidae コハナバチ科**

1. *Lasioglossum (Hemihalictus) spectrum* Murao

オバケチビコハナバチ

1♀：鹿児島市吉野町実方, 30 III 2012, YPT.

1♀, 28 IV 2012, YPT.

1♀：伊佐市菱刈町川北, 137 m alt. (N31.9931, E130.6590), 20 VI 2012.

これまで *Lasioglossum (Evyllaesus) pallilomum* として知られていた種 (台湾に分布) であるが、ごく最近、日本産種は別の新種であることが明らかにされた (Murao, 2021)。また、亜属名も新たな分類体系に基づいて変更されている。なお、本種は既に竹島 (Ikudome & Yamane, 2009) および屋久島 (幾留・村尾, 2021) からの記録があるが、県本土からは初記録と思われる。

2. *Lasioglossum (Hemihalictus) subsimplicior*

Murao ユミチビコハナバチ (新称)

1♀：薩摩川内市藺牟田, 30 IV 2010.

1♀：南九州市川辺町青木牧場, 20 X 2009.

1♀：霧島市溝辺町栗丹生附, 5 VII 2012.

ごく最近 Murao (2021) によって記載された新種で、日本 (北海道から屋久島まで) および韓国に分布する。本県の産地としては、佐多, 喜入, 尾之間などが記録されている。なお、和名の新称ユミチビコハナバチは、本種のホロタイプとなった標本の採集者の名前に因む。

3. *Lasioglossum (Hemihalictus) taeniolellum*

(Vachal) ヒラタチビコハナバチ

1♀：鹿児島市吉野町実方, 23 III 2012,

YPT.; 2♀♀, 27 III 2012, YPT.; 2♀

♀, 28 IV 2012, YPT.

本県初記録と思われる。

4. *Lasioglossum (Leuchalictus) mutilum* (Vachal)

サビイロカタコハナバチ

1♂：長崎県松浦市佐志町, 27 IX 2012.

1♀：南九州市川辺町宮塘池, 19 X 2009.

5. *Lasioglossum (Leuchalictus) occidentens* (Smith)

シロスジカタコハナバチ

1♀：鹿児島市吉野町実方, 28 IV 2012, YPT.

1♂：鹿児島市西之谷, 19 V 2009.

2♂♂3♀♀：志布志市松山町泰野, 3 VIII 2009.

1♀：曾於市末吉町百寺藪, 19 IX 2009.

1♀：長崎県松浦市佐志町, 27 IX 2012.

1♀：霧島市溝辺町宮原, 28 IX 2009.

1♂：出水郡長島町獅子島, 14 X 2009.

6. *Lasioglossum (Leuchalictus) scitulum* (Smith)

フタモンカタコハナバチ

2♂♂3♀♀：霧島市溝辺町栗丹生附, 5 VII 2012.

2♀♀：曾於市末吉町百入, 19 IX 2009.

7. *Lasioglossum (Sphecodogastra) affine* (Smith)

ズマルコハナバチ

1♂：曾於市末吉町百入, 19 IX 2009.

屋久島 (山根ら, 1999; 幾留, 2005; 幾留・村尾, 2021) および種子島 (山根ら, 1999) からの記録があるが、県本土からは初記録と思われる。

8. *Lasioglossum (Sphecodogastra) sibiriacum*

(Blüthgen) キオビコハナバチ

1♀：鹿児島市吉野町実方, 16 III 2008.; 1

♀, 26 III 2012, YPT.; 2♀♀, 27 III 2012,

YPT.; 2♀♀, 29 III 2012, YPT.; 2♀♀,

30 III 2012, YPT.; 1♀, 6 IV 2012, YPT.

前種と同様に屋久島および種子島からの記録があるが、県本土からは初記録と思われる。

9. *Sphcodes nipponicus* Yasumatsu et Hirashima ヤマトヤドリコハナバチ  
1♀：薩摩川内市久見崎町，9 VIII 2012.
10. *Sphcodes simillimus* Smith  
エサキヤドリコハナバチ  
1♀：鹿児島市西之谷，19 V 2009.

#### Melittidae ケアシハナバチ科

1. *Dasypoda japonica* Cockerell  
シロスジフデアシハナバチ  
7♂♂9♀♀：曾於市末吉町百入，19 IX 2009.

#### Megachilidae ハキリバチ科

1. *Euaspis (Parevaspis) basalis* (Ritsem) ハラアカヤドリハキリバチ  
1♀：志布志市松山町泰野，3 VIII 2009.  
1♀：薩摩川内市久見崎町，9 VIII 2012.  
1♀：長崎県松浦市佐志町，27 IX 2012.
2. *Coelioxys (Boreocoelyoxys) yanonis* Matsumura ヤノトガリハナバチ  
1♂：長崎県松浦市佐志町，27 IX 2012.
3. *Coelioxys (Torridapis) fenestrata* Smith オオトガリハナバチ  
1♂：志布志市松山町泰野，3 VIII 2009.
4. *Megachile (Eutricharaea) kyotensis* Alfken キョウトキヌゲハキリバチ  
1♂：志布志市松山町泰野，3 VIII 2009.
5. *Megachile (Megachile) tsurugensis* Cockerell ツルガハキリバチ  
1♂1♀：長崎県松浦市佐志町，27 IX 2012.
6. *Megachile remota sakagamii* Hirashima et Maeta サカガミハキリバチ  
1♀：長崎県松浦市佐志町，27 IX 2012.

#### Apidae ミツバチ科

1. *Nomada montverna* Tsuneki ミヤマキマダラハナバチ  
1♂：鹿児島市吉野町実方，29 III 2012, YPT.  
佐多からの記録がある (Mitai & Tadauchi, 2007)。
2. *Epeolus japonicus* Bischoff ヤマトムカシハナバチヤドリ

4♂♂1♀：長崎県松浦市佐志町，27 IX 2012.

3. *Eucera (Eucera) spurcatipes* Pérez シロスジヒゲナガハナバチ  
1♀：鹿児島市西之谷，18 V 2009  
1♂：曾於市末吉町南之郷，9 IV 2012  
1♀：いちき串木野市万福池，18 V 2012.
4. *Eucera (Synhalonia) nipponensis* (Pérez) ニッポンヒゲナガハナバチ  
2♂♂：鹿児島市吉野町実方，25 IV 2008.  
1♂1♀：日置市日吉町山田城山，7 V 2008.  
1♀：鹿児島市西之谷，18 V 2009.
5. *Tetraloniella (Tetraloniella) mitsukurii* (Cockerell) ミツクリヒゲナガハナバチ  
1♀：出水郡長島町蔵之元下，16 X 2009.

#### まとめ

鹿児島県産ハナバチ類の167個体にもとづいて6科13属32種を記録した。産地は主に本土であるが、一部に県北西部の長島が含まれている。これまでに長島からの記録はほとんどなく（理由は採集されていないだけのこと）、ここにわずかながらアシブトムカシハナバチとミツクリヒゲナガハナバチの2種を記録した。

鹿児島県初記録種としてはヒラタチビコハナバチの1種、また、県本土からの初記録種としてオバケチビコハナバチ、ズマルコハナバチおよびキオビコハナバチの3種があげられる。

一方、長崎県産ハナバチ類については、4科6属7種からなる16個体を記録した。なお、こちらに関しては特筆すべき新発見はない。

#### 謝辞

本リストの作成にあたり、コハナバチ属標本を同定して頂いた村尾竜起博士（地球環境計画 KK，福岡市）にこの場をお借りして厚く御礼申し上げる。

#### 引用文献

幾留秀一 (1992) 都市型自然公園の環境とハナバチ相。－鹿児島市城山公園における調査結果－。鹿児島女子短期大学紀要，(27)：99-135。(132-135 ページに附。鹿児島県本土のハナバチ類改定目録あり)。

- 幾留秀一 (2005) 屋久島人里地域における野生ハナバチ相の生態的研究. 鹿児島女子短期大学紀要, (40) : 1-20.
- 幾留秀一 (2013) 鹿児島県産ハナバチ類の最近の研究成果. *Satsuma*, (150) : 70-75.
- 幾留秀一・村尾竜起 (2021) 屋久島の *Lasioglossum* コハナバチ属 (ハチ目: コハナバチ科). *Nature of Kagoshima*, (47) : 349-354.
- Ikudome, S. & Yamane, Sk. (2009) Ants, wasps and bees of Take-shima, Northern Ryukyus, Japan (Hymenoptera, Aculeata). *Bulletin of the Institute of Minami-Kyushu Regional Science, Kagoshima Women's College*, (25) : 1-8.
- Mitai, K. & Tadauchi, O. (2007) Taxonomic study of the Japanese species of the *Nomada ruficornis* species group (Hymenoptera, Apidae) with remarks on Japanese Fauna of the Genus *Nomada*. *Esakia*, (47) : 25-167.
- Murao, R. (2021) Redefinition of the *sextrigatus* group of *Lasioglossum* (*Hemihalictus*) Cockerell, 1897 (Hymenoptera, Apoidea, Halictidae) with a revision of Japanese species. *European Journal of Taxonomy*, (763) : 1-74.
- 山元宣征 (2017) 長崎県本土の有剣ハチ類. 217 pp. 九州印刷株式会社, 長崎市.
- 山根正気・幾留秀一・寺山守 (1999) 南西諸島産有剣ハチ・アリ類検索図説. 24 pls + xii + 831 pp. 北海道大学図書刊行会, 札幌.

(つかだ たく・いくどめ しゅういち)